

第1回 看護学部ホームカミングデー

「つなごう IC 看護の輪」を開催しました



看護学部ホームカミングデーが9月24日(土)に開催されました。ホームカミングデーは、看護学部の卒業生に現在の看護学部を知ってもらい、同窓生、先輩、後輩と旧交を温めると共に、教職員との交流を目的としています。第1回目となる今年のテーマは「つなごう IC 看護の輪」です。新築の11号館ラウンジで行われ、1回生から4回生までの卒業生55名と退職・在職教職員を含めて79名の参加がありました。

1回生の司会で始まった茶話会は、終始和やかな雰囲気の中で進められました。藤村学部長による学部の現状、本学の学生・教職員の震災ボランティア活動報告、山本研究科長の大学院看護学研究科開設の報告に、卒業生は熱心に耳を傾けていました。

また、卒業生からは、東日本大震災で保健師として奮闘したことや、手術室での看護などの近況が報告され、県内外での活躍ぶりが語られました。さらに、初代学部長の山崎先生から、卒業生の在学時代の頑張りや現在の活躍などのお話があり、参加者は感慨深く聞きっていました。

閉会後のアンケートでは、「懐かしい顔ぶれに会えて楽しかった」「会いたかった先生方とお会いしてお話できた。友達と情報交換ができた」「参加しやすかった」「少し短かった」などというご意見をいただきました。会の終了後も名残惜しそうにいつまでも話をしている参加者の姿が印象的でした。



今後、卒業生の皆様には、毎日の仕事や研究活動などの拠り所として母校を活用していただくことを期待しています。

今回のホームカミングデーをきっかけとして、今後の企画実施の基盤となり、これからもホームカミングデーが毎年開催され、卒業生同士のつながりを強め、大学に回帰できる大切な日になることでしょう。